表 2.4.1: C 言語・OpenGL データ型対応

式 2.5.1. O Hiii Openoi / グ 上 内 liii		
光源		
環境光	GL_AMBIENT	拡散しており,方向を特定できない光 (光のあたらない部分の色に相当)
拡散光	GL_DIFFUSE	特定の位置・方向から来る光(物体色に相当)
鏡面光	GL_SPECULAR	特定の方向から来る光が面で反射し跳ね返る光 (ハイライトに相当)
光源位置	GL_POSITION	光源の位置
光源方向	GL_SPOT_DIRECTION	光源の方向
輝度分布	GL_SPOT_EXPONENT	光源の輝度分布
最大放射角度	GL_SPOT_CUTOFF	光源方向に対してどの程度の角度まで光を当てるか
減衰率	GL_CONSTANT_ATTENUATION, GL_LINEAR_ATTENUATION, GL_QUADRATIC_ATTENUATION	光の減衰する程度
材質		
環境光	GL_AMBIENT	拡散しており,方向を特定できない光 (光のあたらない部分の色に相当)
拡散光	GL_DIFFUSE	特定の位置・方向から来る光(物体色に相当)
鏡面光	GL_SPECULAR, GL_SHININESS	特定の方向から来る光が面で反射し跳ね返る光 (ハイライトに相当)
放射強度	GL_EMISSION	面から発せられる光の強度

2.4.2 陰影処理の開始と終了

148, 149 行目:

```
glEnable(GL_LIGHTING);
glEnable(GL_LIGHTO);

167, 168 行目:

167 glDisable(GL_LIGHTO);
glDisable(GL_LIGHTO);
glDisable(GL_LIGHTING);
```

2.2 節にて説明した glEnable・glDisable の引数に GL_LIGHTING を渡すことで、陰影処理の開始と終了を指定します。また、引数に GL_LIGHT0 を渡すことで、光源の使用開始と終了を指定します。glEnable と glDisable の間に陰影処理を施したい 3 次元図形の記述を行います。このプログラムでは、光源の位置を示すために白い球体を描画していますが、この描画は陰影処理の外に書いてあるため、陰影処理の対象とはならず、球体はどこから見ても真っ白に見えます。陰影処理を行うと処理速度が低下するので必要な箇所のみで開始・終了するようにします。

■ 2.4.3 光源の設定